

安心できる通行を 白山交差点

川又 貞男 議員



工事中の白山交差点（10月）

問 白山通りから6号国道の交差点について、白山を住みよいまちにする会と市長との面談を実施した。その中で、通行者の安全を守るということ、歩道の拡幅と、歩道橋の階段の降り口を国道と平行して造るといふ2つの話をした。交差点の工事は進んでいるが、こちらのほうはどうなのか。

都市整備部長 工事に入る予定ではいるが、権利者との交渉が成立していない。

問 白山は年配の方が多くなっている。そういう方が歩くわけだが、このことに對してどういう考えを持っているか。

区画整理課長 新しい交差点の横断歩道を渡っていたが、現在の交差点から

約45メートル南に移動する。横断歩道を安全に渡ることをお願いしたい。

問 交差点ができて、交通事故に遭ってけがをしたということが絶対にないようをお願いする。

都市整備部長 交差点を改良する中で事故があつては非常に困る。県警・取手警察署と十分に打ち合わせをし、事故のない交差点にしていきたい。

やめるべき 保健センター統合

遠山 智恵子 議員

問 市民生活に身近な場所にある2カ所の保健センターの役割は大きい。ウエルネスプラザ計画による保健センター統合はやめ、施設の有効活用、少子高齢化社会に配慮した地域密着型の保健事業に取り組みべき。健康福祉部長 保健師の最大の仕事は訪問。保健センターを一つに集約することにより効率化され、地域密着型の保健事業をさらに前進させる契機と考える。

問 保健センターをウエルネスプラザに集約する計画は、いつから始まったのか。

答 昨年10月から本年3月まで6回内部打ち合わせをやっている。

問 保健師を集約しても現施設の機能は維持すると

市民懇談会でも説明があつた。保健センターの機能とは、保健師や管理栄養士が配置されて初めて運営ができるものだと思うが。

市長 基本的にサービスを落とすことはない。複数の所に拠点を置いているだけでは人材の育成が難しい。健診や、曜日を決めた相談は藤代保健センターでできるようにする。



取手保健センター（左）と藤代保健センター（右）

市民の対話を！ 取手駅西口整備

飯島 悠介 議員

問 中心市街地が担う役割として、商業施設の周知・

にぎわいの呼び込みをどう考えるのか。

都市整備部次長 まちづくりは、公共、民間共同で行うもの。健康・医療・福祉・環境というウエルネス・タウン構想により、取手駅周辺地区をつくり、世間にPRする目標を共有することにより初めてできると思う。

問 ウエルネスプラザを検討する上で、公共施設マネジメントがどう関係するか。

市長 市全体を発展させるため、駅前を放置しておけない。駅前を特別に集中して考えてきたことが実態を反映していると思う。

問 ウエルネスプラザ整備計画は、市民の関心が非常に高く、180件ものパブリックコメントがあつた。この関心をそらさずにウエルネスプラザをつくることに必要。市民との信頼関係を築き、今後の事業を行う上で、対話を行う機会が必要と思うが、予定は。

都市整備部次長 意見を参考にしながら、管理運営、建築設計等を進めていく。パブリックコメントについて、改めて説明会をする予定はない。

問 説明会を開催すべきだと思ふが、どうか。

同 説明会の形でなくても、節目ごとに説明や意見交換を行う考えは持っている。

いじめに對する 市の対応は？

小嶋 吉浩 議員

問 いじめは、数十年前からなくそうということが叫ばれているが、一向になくなることはない。大津市の事件がクローズアップされているが、市ではどう総括しているか。

教育長 詳しい状況がわからないが、市としては、いじめの事実があつたら、気付いた日のうちに対応しようということを校長会にお願いしている。また、教育委員会も学校と指導・協力しながら対応しているが、その部分を強調してやっていきたい。この場合は、生徒が亡くなっているの、遺族の意向を確認し、丁寧に報告等しながら対応したいと考えている。

問 大津市の事件以降、市はいじめの対応を検討したと思ふが、新たな対応策は。

答 弁護士、カウンセラー、医師等が入る学校問題解決サポートチームがあるが、短時間で動けるチームづくりをし、何かあつたときにしっかり対応したい。また、低学年からの指導に加え、カウンセリング的なかかわりを大事にしていきたい。また、家庭ではしっかりと愛することを願いたい。

どうなる？ 取手駅自転車駐車場

吉田 宏 議員

問 自転車駐車場の整備計画について市の考えは。

都市整備部長 市営駐輪場が区画整理事業区域に3カ所ある。新しい駐輪場を計画しており、機械式と自走式で約860台を整備予定。

問 機械式の収容台数は456台。なぜメーカーを選定せずに台数が出せるのか。

答 設計会社が2社のメーカーとヒアリングした結果、希望台数をクリアした。

問 メーカーを決めずに建築確認申請できるのか。

都市整備部次長 建築基準法を満たす建築物である。

問 設計の26メートルの高さの実績は。

答 2社とも標準仕様を変えて製造できる。

問 実績のない会社に頼むより実績を持った会社に頼むことが多いのでは。

答 日本ではこの2社がほとんどを占めており、施設の整備は実績があると思う。

問 事業費の増加の理由は。

答 当初は機械式だけであったが機械式と自走式を併用にした。また太陽光パネルや利用者のためにエレベーターを設置、歩行者デッキと接続する連絡通路の整備等による増加である。